

熊本労働局発表

平成 22 年 1 月 13 日

平成 21 年 熊本県の死亡労働災害発生状況について

熊本労働局（局長 奈良 篤）は、県下における平成 21 年の死亡労働災害の発生状況をまとめた。

平成 21 年の労働災害による死亡者数は 20 人で、平成 20 年の 27 人に比べ 7 人減少した。

（別添資料）

1 業種別発生状況

主な業種別では、「建設業」6 人（前年同数）、「製造業」4 人（前年比 1 人減）、「運輸交通業」2 人（前年比 5 人減）であった。

その他、「鉱業（土石採取業）」、「農業」、「林業」、「商業」、「畜産・水産業」、「保健衛生」、「清掃・と畜」、「その他の事業」がそれぞれ 1 人であった。

2 災害の型別発生状況

災害の型別では、「墜落・転落」7 人（前年比 4 人増）、「はさまれ・巻き込まれ」3 人（前年比 2 人減）、「交通事故」3 人（前年比 3 人減）、「激突され」2 人（前年比 3 人減）、「切れ・こすれ」1 人、「その他」3 人、「分類不能」1 人であった。

3 平成 21 年の死亡災害の特徴

（1）全産業で、前年と比べて 7 人減少（前年比 26%減）した。

（2）運輸交通業において 2 人の発生をみたものの、前年比 5 人の減少となった。

（3）災害の型別で、「墜落・転落」が急増した。

年別 死亡災害発生状況

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
製造業	5	2	5	6	2	1	3	2	4	4	5	4
鉱業(土砂採取業)	1	1	2	0	1	0	1	0	0	0	1	1
建設業	12	16	16	9	3	15	11	7	8	5	6	6
運輸交通業	7	3	4	4	4	6	4	4	2	4	7	2
林業	1	4	2	2	0	1	1	0	0	2	2	1
商業	3	2	3	3	1	0	3	3	3	1	2	1
その他	7	3	3	3	5	8	3	4	6	2	4	5
合計	36	31	35	27	16	31	26	20	23	18	27	20
5ヶ年計画	145					118					47	

* 平成20年度を初年度とする第11次労働災害防止計画では、前5ヶ年計画中の死亡災害者数の20%減を目標としている。このため、22年以降の3カ年で47人以内の発生にとどめる必要がある。

(1) 全産業における発生状況



(2) 業種別発生状況

